

Minami Kyushu University Syllabus

授業計画 【第11回】	都市の防災計画 都市生活を安全に継続するためにどのような施策や対策が取られているか学ぶ。
授業計画 【第12回】	都市の景観計画 快適で美しい都市環境を想像し保全していくための取り組みを学ぶ。
授業計画 【第13回】	参加と協働のまちづくり 豊かな都市環境創造のために市民と行政の連携がどのように進展してきたかを学ぶ。
授業計画 【第14回】	都市の再生 都市のリニューアルの必要性やその手法について学ぶ。
授業計画 【第15回】	身近な都市計画 都城市都市計画課に講座を依頼し、アクティブラーニング型のワークショップを行う。
授業の到達目標	1) 都市や都市計画について体系的に学び、都市とはどんなものか、都市計画とはなぜ必要で、どのように行われるのかを身につけます。【専門分野の知識・理解】 2) 都市計画にかかる専門職業人として必要な基礎的知識や技術を学び、持続可能な循環型社会の実現に向けた課題発見と問題解決をはかる手がかりを身につけます。【専門分野のスキル】【課題発見・分析・解決力】【実践力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	第1回目の授業で示す参考図書など都市や都市計画に関する資料を授業前に読んでおく。 また、自らの都市や都市計画に関する知識を深め、都市計画の社会的役割を理解するため、現在住んでいる都市や出身地の都市などに赴き、その構造や社会的位置づけなどについて観察し考察を深めておく。(平均約1時間)
授業時間外学習【復習】	第1回目の授業で示す参考図書など都市や都市計画に関する資料について、授業後に理解が曖昧な時は再度精読して確認しておく。次回授業の小テストに備えて配布資料等を用いて復習をしておく。(約1時間)
課題に対する フィードバック	小テストは、採点後に返却し、次の授業にて解説をする。レポートは原則として採点後に返却する。必要がある時はコメントをする。 定期試験は試験後に解説を行う。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 小テスト及びレポート20点 2) 定期試験80点
テキスト	授業中において配布する資料及び紹介又は指示する書籍
参考書	第1回目の授業(ガイダンス)において紹介する。主なもの一部を以下に示す。 ①五十嵐弘著『図説入門よくわかる最新都市計画の基本と仕組み』秀和システム、2020年 ②伊達美徳編著『初めて学ぶ都市計画』市ヶ谷出版社、2008年 ③川上光彦『都市計画』森北出版、2008年 ④森山、平岡他『ランドスケープアーキテクチャーの起点』ぎょうせい、2007年
備考	